

# 学校だより 学校評価前期

平成 26 年 11 月 17 日  
京都市立向島小学校  
校長 和久田 達

前期の学校評価ありがとうございました。本校では教育活動を振り返り、改善・充実を図るために学校評価を活用していきたいと考えています。なお、別紙にて「学校評価の結果」を載せました。  
保護者・地域の方々のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 平成 26 年度 前期学校評価（達成度）から 重点項目 考察と対策

保護者の皆様、前期のアンケートへのご協力ありがとうございました。この結果をもとに、学年後期に、さらによりよい学校教育を目指して、全校一丸となって教育にあたります。

今回は子どもたちの規範意識、社会性が高くなっています。落ち着いた学校で、子どもたち一人一人が決まりを守り、友だちと仲良くしてきた結果と考えます。しかし、授業では子どもたちの発表に課題があります。後期は、有効な授業改善を図っていきます。

### ○学力向上

※基礎的な学力はついてきています。教員が指導法改善を意識し、指導していることが表れていますが、子どもに有効に働いていないことも考えられます。

後期も、1時間、1時間の授業で、徹底した授業改善を行い、子ども主体でわかりやすい授業を構築し、ひとりひとりに「わかる喜び」と「学習への意欲」をつけていきたいと考えています。

	保護者	教職員	児童
基本的な学力	77→77	73→75	88→91
授業の達成感	76→81	78→81	75→69 △ (授業中 発表すること)
指導法改善	77→92 ○	75→86 ○	
家庭学習	70→65 △	64→71 ○	92→90



### ○すすんであいさつできる子

※引き続き、あいさつ、児童の評価が 90 パーセントを超えていました！全校で重点として意識して継続して指導した結果と考えております。今後はさらに望ましいあいさつをめざしていきたいと思っています。「相手より先に、相手の目を見て、大きな声で、そして笑顔で」あいさつできる子どもを目指します。PTA や地域のご協力も得られ、あいさつが定着しつつあります。

	保護者	教職員	児童
あいさつ	74→78	69→68	92→92

### ○集団作りによる規範意識の形成と社会性の向上

※保護者、教職員、児童、すべてで 90% 以上の高い結果！子どもたちに規範意識を身につき、落ち着いた学校生活が送れている表れです。今こそ、授業改善を進め、学力向上を図っていきたいと考えています。さらに、子どもが 100 パーセントになるように「一人ひとりを徹底的に大切にする教育」を進めていきたいと考えています。

	保護者	教職員	児童
きまり、約束	82→90 ○	82→95 ○	91→96 ○
思いやり	82→90 ○	90→100 ○	97→98 (友達と仲良くすること)
楽しい学校	90→95 ○	94→100 ○	88→94 ○

- ・デジタル教科書等の ICT 活用で視覚支援を（算数・国語・社会・理科のデジタル教科書整備済）
- ・子どもの言語活動を重視し、子どもの考えを交流し、学びあえる授業を実施する。（話し合い活動、考え方・根拠・理由をもとにした発表等）
- ・朝の読み声、朝読書、ステップタイム等、年間通して全学年徹底的にやりきることで子どもたちの力となる。
- ・一人一人の子どもの頑張りが実感できる 1 時間 1 時間の授業評価の工夫が必要である。
- ・ノート検定は効果的。後期も実施して、書く力、考える力を育成する。

### 全国調査 6 年 ジョイント 5,6 年の結果から

5 年生のジョイント結果は国語も算数も伸びており、学年が上がるにつれて上昇しています！全市平均まであと一息です。特に、国語で高い伸びを見せました。学習に向かう姿勢ができてきました。

6 年生は、全国調査もジョイントも全市平均とほぼ同じ！安定した結果を残しました。しかしながら、学んだことを活用して考える B 問題に少し課題があります。

後期は、成果・課題を考察し、対策を考え、授業に生かしていきます。

- ・児童会、学年、PTA、地域での「朝のあいさつ運動」を今後も続けていく。
- ・あいさつで始まり、あいさつで終わることをたくさん経験させていく。
- ・教職員は当番のときは朝あいさつに出る。また、当番でないときも積極的に校門に立ち、あいさつを交わすことは子どもとの人間関係を深まることにもつながるし、望ましい挨拶を指導することもできると考えている。

- ・今後も学校のルールやマナーを全教職員でぶれずに指導し、全教職員が同じ方向を向いて子どもを指導することを徹底する。
- ・依然としてリーダー性のある子が少ない。後期も子どもの活動の場を学校行事、児童会、学級活動等で意識して作っていくことが必要である。特に「たてわり活動」を重視していき、全校遠足、たてわり遊び、卒業に向けたこ取組、たてわりでの児童会活動などを実施していき、その中で関わりあいの良さや自分や友だちを大切に考えるやさしさを育んでいきたい。
- ・学級でも子どもたちが何をすればよいかを考え、学級を楽しくするための活動を自分たちで話し合って計画し、実践する活動を増やしていき、主体性を育てていきたい。

## ○読書の習慣

※保護者が低くなり、教職員は大幅に上昇した。これは、家の読書が定着していないことを表している。学校では、重点の一つとして継続して読書教育を行っています。進んで読書するように学校での良さ、楽しさを経験させることで、家の読書につなげていきたいと考えています。お家でも読書の時間がとれるようご協力を願います。また、図書室が新しくなり確実に図書室に来る子は増えています。来年度も図書室の環境整備を進めていきます。

	保護者	教職員	児童
読書の習慣	48→41 △	45→71 ○	81→79

## 図書ボランティア募集中 図書室の開室時間を増やすため

ぜひ空いている時間に学校の図書室で子どもたちと一緒に過ごしてください。学校まで連絡をお願いします。TEL 601-8221

- 国語に限らず、図書室を使った授業を増やし、子どもたちに本の素晴らしさや図書室の使い方を教えていき、伝記や自然科学、歴史や現代社会などの読書につながるようにしていく。

- 後期は朝読書が家読につながるような取組を進める。続きは家で読ませたり、読書マラソンなど具体的に計画し、毎日、家でも学校でも読む習慣をつけていきたい。

- 引き続き読書の意欲につながる取組を進める。読み聞かせ（学級で、教職員が、高学年が）や掲示物の工夫、図書委員会の取り組みなど。

- 読書する人的環境を整える。図書館支援員、図書ボランティアの常時配置、土曜や長期休業中、放課後の開館を広げる。保護者の皆様、ぜひご協力を。

- 読書した子にはしっかり評価する。100冊マラソン、図書リーダーの表彰、学級での評価も

## ○望ましい言葉づかい

※言葉づかいはあいさつといっしょで自分を表わすもの！今、正しい言葉づかいを身につけないと将来困るのは子どもたち自身です。教職員が大幅に高くなりました。意識して指導した結果であるとともに教職員自身の言葉遣いも少し改善されたと考えています。正しく話せないと言語活動を大切にする授業にも大きな影響が出て、学力向上が望めません。これからも、気になる言葉遣いについては教員も保護者・地域の方も機を逃さず、子どもたちに直接指導していきましょう。

	保護者	教職員	児童
望ましい言葉づかい	61→63	48→64 ○	81→85

- 引き続き、学校の言語環境の改善を徹底する。まずは教職員が範を示さなければならない。

- 気になる言葉遣いについては、その場での指導を徹底する。

- 特に、授業での言語改善が重要である。ていねいな言葉づかいで授業するように徹底する。

- 遊び時間、授業中、目上の人と話すとき、友達と話すときなど時と場面を考えた言葉づかいを指導していくとともに言語活動を多く経験させる。

## ○元気いっぱい

※子どもたちのすべての活動のもととなる睡眠時間。保護者、児童、教員の実現度は7割ぐらいであまり変わっていません。早寝早起きを直接指導していただくのは保護者の方であり、今、よい習慣をつけていかないと中学になってからではさらに難しくなると思っています。特に、テレビやネットでの夜更かしは何一ついいことはありません。学校の働き掛けや生活点検はこのまま続けていきます。また、昨年度のように風邪やインフルエンザが少なくなるように、睡眠と運動に加えて、手洗い、うがい、マスクなど、その予防を大切に考えていきます。

	保護者	教職員	児童
適切な睡眠	70→66	68→61 △	66→73 ○
健康で体力のある体	83→86	93→95	88→91 (外で元気に遊ぶ)

- これから寒くなります。元気に外で遊ぶように指導を続ける。

- 朝会、学活、保健だよりを活用して、睡眠の重要性やインフルエンザの予防について発信する。

- うがい、手洗いがすべての病気の予防になることを知り、子どもの習慣になるように学校全体で指導していく。

## ☆学校運営協議会の委員の皆様の意見

- 子どもたちが「学校が楽しい！」と思えることがとても大切。外で遊ぶ子も多いのが良い。今後も異年齢で鬼ごっこやサッカー、タイヤ遊びなど仲良く遊んでほしい。
- 「きまりや約束を守る意識が高い」ことは学校の落ち着きにつながっている。毎月、学年ごとに「あいさつ運動」をしている子どもたちの姿が素晴らしい。
- 山の家でも5年生はしっかり自主的に動けていた。この意識や態度を学校生活や地域での生活にも活かして来年はよいリーダーに成長してほしい。
- 「授業中の発言に消極的」な子どもが多いのは失敗が怖いのではないか？授業を何でも言い合える明るい雰囲気にし、指名で発表させてでも経験や自信をつけてほしい。
- 地域での「自転車の乗り方」を見ていると事故に遭うのではないかと心配。特に川沿いの堤防から下ってくる坂道や交差点。スピードを出し過ぎないようしてほしい。ふれあい自転車教室などに保護者も参加し、交通ルールや運転中の危険性を学ぶことで子どもを事故から守れるのではないか。
- 遅刻が減っている。きちんと定時に登校することで、不審者に遭遇したり事件に巻き込まれる心配も少なくなっていると思うので、このまま続けてほしい。
- 学校や教室で出来ている「言葉遣い」や「あいさつ」などが家庭や地域でも同じようにできることが望ましい。向島東ブロック全体で取り組んでいきたい。

学年後期、ここに示した改善策で全校一丸となって、子どもたちの教育を進めてまいります。子どもたちの健やかな成長のため保護者・地域の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。